

はリンク

はWAMNETの事業者情報にリンク

**事業所名**

多 聞

日付 平成 21年 3月 31日  
特定非営利活動法人

**評価機関名** ライフサポート

評価調査員 在宅介護経験15年

評価調査員 介護支援専門員経験5年

自主評価結果を見る

評価項目の内容を見る

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)

**1. 評価結果の概要**

**講評**

全体を通して(特に良いと思われる点など)

「人間(人)が人間(人)として最後まで人間(人)らしく(安全・満足・感動)」この理念を作ったのが、5年前の平成15年末に開設した時のこのグループホームの理念である。認知症であっても一人の人間、介護する人と同じであり、人間らしい生活を送ろうという事を、このホームでは既に考えていた。このホームを最初に訪問した時(平成17年3月)に、この理念を見て驚いた事を思い出し、その時の報告書にはこの理念について何も書かなかった。平成18年3月に訪問した時には、この理念はまだ世の中では通用していなかった。認知症は病人で、脳の病気です、というのがやっと世の中で言われ出した時だった。現在では、この理念はむしろ当たり前と受け止められるが、今から考えると平成16年に“すべて平等な人”としてケアを考えると自体すごく先進的であったと思う。今になって、認知症の人も普通の人と言い始めたと言っても良く、素晴らしい感覚だと思う。

このホームの管理者は、「利用者をケアするという仕事の流れは十分できている。利用者が精神面でどんどん症状が重くなっていくと日変わりで状況が変化していく。これに対するケアはマニュアル化できるものでもなく、職員一人ひとりが、自分のコミュニケーションの中から対応を判断していかねばならないというケアの真髓まで来ていると考えている」と認知症の人に向き合うための心の深さの必要性を云っている。「だから、職員は自ら何をすべきか、しっかり考えなければいけない」ということで今年度からユニットの目標に加えて、職員一人ひとりが『自己目標』を出し合って、それが掲示してあった。つまり、ホームでのケアの仕事は自己管理しなければ、これ以上きめの細かいケアは出来ず、その人らしい生き方を支援していけないというレベルに来ている。

そう云えば、このグループホームは、利用者がリビングルームで揃っている時は食事やおやつ  
の時間だけで、後は自分の部屋で過ごしたり、病院へのリハビリをしに行っており、個人の時間を  
費やしていることが多い。特に男性利用者が6名いるが、殆どの方がマイペースで生活している。  
大分以前から「本人本位」のケアを貫いてきた。自分のしたいことを定め、自分がしたい生活をする  
ことを支援してきた。女性も自分のペースで過ごしている人も多い。現在100歳になった人を筆頭  
に97歳に人、そして90歳代の人が多いが、側から見ると皆若々しく見え元気で生活している  
人が多い。その人達が集まって食事をする時は賑やかな会話が飛び交う。普通の人の集団と一緒  
である。これからのグループホームの生活はこんな生活状況になるのではないかと話していたが、  
年をとってもこの暮らしが、一人ひとりの尊厳を大切にしたら暮らしかも知れないと感じた。

特に改善の余地があると思われる点

グループホームのスタイルは色々あるが、若い人の好むライフスタイルを高齢者の中でも実施  
してきたホームである。このホームの利用者の生きがいや個性の発揮に対して今後も注目してい  
きたい。

## 2. 評価結果(詳細)

### I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	<p>1、自主評価について…：前頁で紹介した通り、このホームの理念は今まで先進的な存在である。そして目標を自己目標まで掘り下げてきた。このケアについては注目すべきだとと思う。</p> <p>2、全体的に見て…：2つのユニットは別のユニット目標を作っている。ユニットの目標に加え、それぞれ自己目標を持って仕事をしている。</p> <p>(1Fユニット) &lt;笑顔で挨拶しよう&gt;</p> <p>(2Fユニット) &lt;優しい心で優しいケア(笑顔で楽しいホーム作り)&gt;</p> <p>この理念や目標については、毎日の業務をこなしていく中で、それぞれの職員が自分の体験や課題からこれらの理念や目標を理解してもらおうと考えている。</p>		

### II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>1、自主評価について…：グループホームの建物は敷地一杯に総2階建てで建てられているので、外部空間のゆとりはない。しかし、すぐ側に母体の病院があり、そのリハビリセンターへ通うのも外部空間である。又、この近辺の商店街や近所を散歩するのも、このホームの日課である。利用者は自分の居室も立派な住居に該当する。トイレと洗面所も各部屋に完備しているので便利である。</p> <p>2、全体的に見て…：グループホームは家庭生活の延長とよく言われている。そして、利用者は家族だとも言う。私はグループホームの事を一つの社会だと言っており、利用者一人ひとりには社会人であり、独立した人間同士の集団生活だとも考えられる。だからグループホームは第二の家ではなく、ここの住人が、「このホームで暮らしているのが一番楽しい」と云ってもらえる住処をつくるのがプロの職員ではないかという事もある。</p>		

### III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	評価	不能
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		

### III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援	評価	不能
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>1、自主評価について…：ケアマネジメントについて改善する所はない。このホームのケアスタイルはこれからの人間ケアとして考えるものがある。</p> <p>2、全体的に見て…：このグループホームに入所してきた時には、人間としての機能を失ってしまったと思われる症状や生きる力を失ってしまった人が、このホームでの職員のケアとここで住んでいる利用者との人間関係によって、失っていた機能や生きる楽しみを持った人も多い。両手が抱擁して3本の指しか使えなくなっていた人が、風呂に入る度に指の屈伸運動して、指が広がるようになり、色々な行動が出来、明るく楽しい日々が送れるようになった。関節リウマチの人が何もする気がなかったが、気長に接して、自分でできる事は自分でするという習慣ができ、自分で服を出して着替えが出来ようになった。これは一例に過ぎないが、自分で動け、食事を摂れ、排泄も出来るようになる人間誰でも楽しい生活ができるようにする。</p>		

### IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	災害対策		
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
34	家族への日常の様子に関する情報提供		
35	運営推進会議を活かした取組		
36	地域との連携と交流促進		
37	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。		
記述回答	<p>1、自主評価について…：このホームは母体法人の参加にある為、地域と組織的に交流していく事は法人の元ですることが多い。近所の人との交わりは利用者を含めて積極的に付き合いをしている。</p> <p>2、全体的に見て…：運営推進会議をきっかけに委員から紹介してもらい、近くの保育園の園児がホームを訪れ、利用者と園児が仲良くなり、保育園を訪ねるようになった。そして色々な行事にも招待してくれるようになった。園児から敬老の日にももらった作品を部屋に飾った。地域の敬老会にも招待され出席したりして、他の行事にも積極的に出掛けるようになった。夏祭りに行く時も用意して歓迎してくれた。ボランティアの人も2ヶ月に1回慰問してくれるようになった。地域の子供や高齢者の人との交流も広がりをもたらしてくれた。</p>		